

障害児基礎教育研究会(水口研)

第337回定例会のお知らせ

障害児基礎教育研究会では、毎月1回 事例研究会を開催しております。ご興味のある方は、お近くの会員又は下記お問い合わせ先までご連絡ください。

第337回 定例会 令和4年6月18日(土) 15:00-17:00

15:00-17:00 実践報告

テーマ「触ってわかった！～教具に触れて初めて見えた。I君との関わりの糸口～」

発表者：林直子（児童発達支援・放課後等デイサービス チャイルドケアハースラーニング）

＜発表者より一言＞

知的障害や発達障害の子どもさんたちに、放課後等デイサービスの中で、言語聴覚士として何ができるのか、日々学びを深め、探求して参りました…つもりでした。ですが！全く見えていなかったのです。触って分かったのは、私でした！ ようやく見えた支援の糸口について、お話をさせて頂きたいと思います。

今月も新型コロナウイルス感染拡大を受け、オンラインでの定例会に変更します。

- ① 会員の方にはメールで Zoom の URL と ID を送付します。受け取れない方は研究会の HP の「お問い合わせ」よりご連絡ください。
- ② 会員以外の方で定例会に参加したい方は HP「お問い合わせ」よりご連絡ください。

代表 吉瀬 正則

☆発表内容は都合により変更になる場合があります。詳細は HP をご覧ください。☆

☆定例会の参加費は無料です。☆

お問い合わせ：障害児基礎教育研究会 HP <https://kisoedu.jp/> よりお問い合わせください。

根本 文雄・加部 清子・飯島 徹（会場校 案内状発送）（筑波大附属大塚特別支援学校）

比嘉 展寿（沖縄県立宮古特別支援学校）

長沼 潤子（案内状作成 東京都立中野特別支援学校）

金子記美恵（各種連絡調整 東京都立鹿本学園）

立松 英子（WEB 担当：東京福祉大学）